

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立木立小学校

④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組の具体①

「めあて」を明確にし、目的意識を持たせ、協働しながら課題解決に向かわせる授業づくり

- 重点① 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の設定
- 重点② 視点をもった「振り返り」(1時間・単元を通して)
- 重点③ 協働的な学習場面の創造

取組内容 学習の見通しを持たせ、意欲を高める「めあて」の設定と学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識を次につなげる「振り返り」の設定

- 指標
- ・毎時間「めあて」と「振り返り」の場を設定する。
 - ・「振り返り」は自分の言葉で、文章(文字言語)で行わせる(特に高学年)。
 - ・単元に1回以上の協働的な学習場面の設定。
 - ・視点は、「何が分かったか(できるようになったか)」「もっとやってみたいことは何か」を中心に取り組む。

低学年向け

- いかにしたいこと
- できるようになったこと
- わかったこと

高学年向け

- 活かしていきたいこと
- もっとやってみたいこと
- ぎもんに思ったこと
- できるようになったこと
- わかったこと

取組の具体②

※上記以外の取組

<基礎・基本の定着のために>

- ・算数科 基礎の定着のための反復と活用問題に取り組む
→スキルタイム、家庭学習
- ・国語科 読解、視点を持った作文の推敲
→読書タイム、「週末親子読書」、授業における工夫
- ・字数制限を設けた要約の力を伸ばす
→スキルタイム
- ・学習規律の徹底
→「木立っ子のやくそく」

<学習意欲の継続と自力解決の力を伸ばすために>

- ・単元に1回以上は、協働的な学習場面を設定する
- ・態度・話形指導 →「聞き方・話し方あいうえお」
つなぎ言葉

<計画的な家庭学習の習慣の定着のために>

→「家庭学習見直し週間」各学期に1回実施

木立っ子のやくそく!

1 授業の約束

- チャイムがなったら、席についておきます。
- 休み時間によつたことをまずさせておきます。
- 次の授業の準備をする。
- トイレに行っておく。
- あてられたら、「はい」と返事をし、立って話をします。
- 友だちの言葉に対して返事をします。
- 「わかりました。」「同じです。」「質問があります。」「付け加えがあります。」「前に意見があります。」など
- 正しい姿勢で学習をします。(足べったん! 背中はピン! 手はひざ又はノートをおさえて!)
- 授業中、関係ないおしゃべりはありません。
- 話相手やノートに敬意をします。

振り返りの決め方

- ① いでをきで
- ② そがずに
- ③ つむかないで
- ④ がおで
- ⑤ わりまで話そう

聞き方の決め方

- ① いでをきで
- ② しょうけんめいに
- ③ なずきながら
- ④ がおで
- ⑤ わりまで聞こう

木立っ子のやくそく!

1 授業の約束

- チャイムがなったら、席についておきます。
- 休み時間によつたことをまずさせておきます。
- 次の授業の準備をする。
- トイレに行っておく。
- あてられたら、「はい」と返事をし、立って話をします。
- 友だちの言葉に対して返事をします。
- 「わかりました。」「同じです。」「質問があります。」「付け加えがあります。」「前に意見があります。」など
- 正しい姿勢で学習をします。(足べったん! 背中はピン! 手はひざ又はノートをおさえて!)
- 授業中、関係ないおしゃべりはありません。
- 話相手やノートに敬意をします。

振り返りの決め方

- ① いでをきで
- ② そがずに
- ③ つむかないで
- ④ がおで
- ⑤ わりまで話そう

聞き方の決め方

- ① いでをきで
- ② しょうけんめいに
- ③ なずきながら
- ④ がおで
- ⑤ わりまで聞こう

「木立っ子のやくそく」